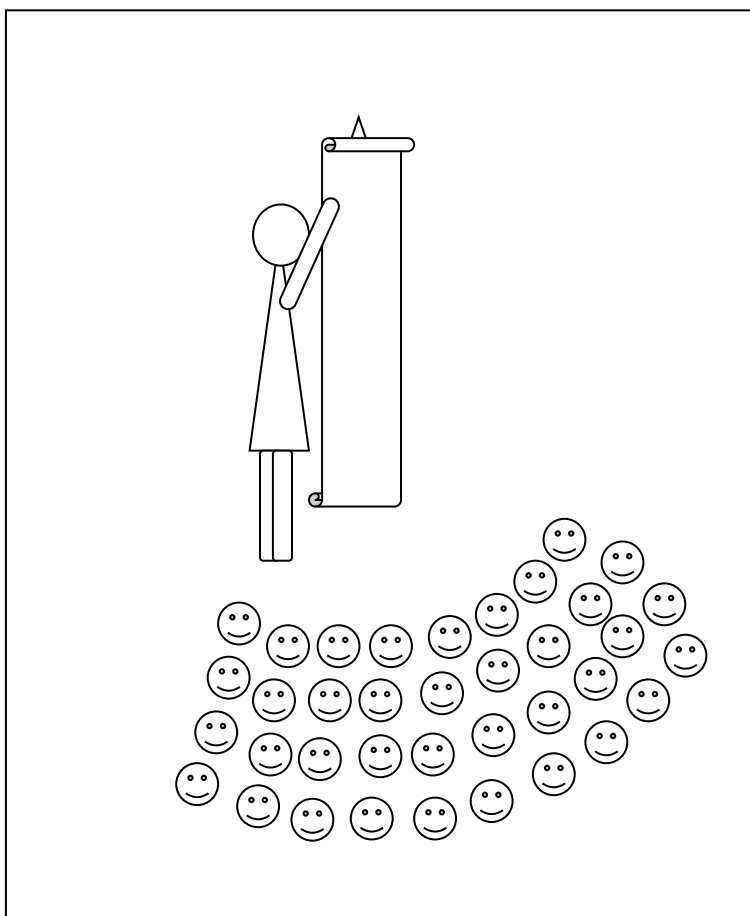


題材名	日本画鑑賞授業「日本画って何だろう」プログラム案		
ねらい	○掛け軸の鑑賞を通して、日本の文化・伝統について知り、興味・関心をもつ。 ○日本画の特徴や画材について体験的に理解し、日本美術の良さに触れる。 ○美術館や美術文化に親しむ。		
内 容	① 導 入 【美術館クイズ】 ② 対 話 【日本らしいもの】をキーワードにして対話を行う。 ③ 見 る 【掛け軸鑑賞】 少しずつみる。 ④ 解 説 【日本画の画材について、学んだ言葉】		
時 間	活 動	支 援 (★)・留意点 (※)	準 備
：	準備：	・和室や床の間があればそこを使う。 ・掛け軸をかけるフックの高さを確認。	□学習机1つ
：	はじめのあいさつ	  「これ、なあ〜んだ？」	□近美写真 □マリリン写真
：	導入【美術館クイズ】 3分 近代美術館を紹介するクイズを2問行う。		
：	導入【日本らしいもの】 分 「日本らしい物や場所ってどんなものがある？」 「和室には何があるかな。」 「一段高くなっている床の間、なぜでしょう？」 「昔、身分の高い人が座る場所を一段高くしたのが始まりといわれているよ。」 「今では、文字（書道）や絵の描いた掛け軸を飾ることが多いです。」	※「日本らしいもの」をキーワードにして対話を行う。 和室などが学校にある場合は、そこで行い、「和室」や「たたみ」「床の間」への話題へと移る ☆生活経験から掛け軸を飾るというイメージをひきだす。	
：	見る【春の夜 対話鑑賞】 分 ◇うやうやしく箱を出し、興味をひく ◇風帯の説明をする 元々は掛け軸を外に飾っていたので、鳥よけのためにつけられたことを補足する。今は飾り。 ◇風流人の説明 ◇1段階 「よく見て何が描かれていますか？」 ・花や木 つぼみのつき方や枝振りで判断 ・夜 何時ぐらいかな？ ・左端の金粉は何を表わそうとして使った？ ◇2段階 「耳がみえた、何の耳？」 実はミミズクというフクロウの仲間。 ・背景の色の違いから時間帯やミミズクが何をしているかミミズクの気持ちを考える。 ◇3段階 「もっと下を見てみましょう」 明るくなってきたことに気付かせる。 ・この明るさは何だろう？ ◇4段階 「猫が何をくわえているか。」 時間を遡ったり、進めて物語を考えよう。 ◇発表してみよう	箱の留め具、出し方の説明。 ☆粋な遊び風に、鑑賞を楽しむ。 ☆観察・根拠を持って発表 ☆五感を使って ◎◎だと思います。 ○○をしている 下には○が描かれている。 ☆掛け軸の絵の外に何が描かれているのか想像をする。	□《春の夜》複製画 □矢筈
：	解説【日本画の材料】 5分 ・掛け軸 ・矢筈 ・日本画 ・岩絵の具 ・膠 ・春の夜 ・小茂田青樹		□パネル □岩絵の具 □膠

	終わりのあいさつ		
事後学習	・鑑賞の感想を書く。		
実施日時	年 月 日 () 準備開始 : ~ 2時間目 : ~ : 組 名 3時間目 : ~ : 組 名 4時間目 : ~ : 組 名		
場 所	学校 会場 ()		
人 数	年生 クラス 名+ 名		
進 行	美術館:		
当日準備	☐ 掛け軸のかける場所の確認		

会場図



作品解説

小茂田 青樹(おもだ せいじゅ、[1891年](#)(明治24年)[10月30日](#) - [1933年](#)(昭和8年)[8月28日](#))は、[大正](#)から[昭和](#)初期の[日本画家](#)。詩情の画家。[埼玉県](#)川越町(現[川越市](#))に呉服商・小島徳右衛門の次男として生まれる。17歳で上京。当時は川越町と[東京市](#)を結ぶ鉄路がなく、寄宿したのが[松本楓湖](#)の隣家であった。その縁もあって楓湖の「安雅堂画塾」に入門。なお、同日に、終生ライバル関係となる[速水御舟](#)も入門。画塾では御舟が午前、青樹が午後だった。[1915年](#)(大正4年)の[再興院展](#)に「小泉夜雨」が初入選。その後、[肺結核](#)となり川越の実家で静養する。[1918年](#)(大正7年)、第5回再興院展で「菜園」が入選。[1921年](#)(大正10年)、第8回再興院展に洋画的な手法と細密表現の際立つ「出雲江角港」を出品し、[横山大観](#)らに推挙され[日本美術院](#)の同人となる。[1929年](#)(昭和4年)、杉立社を組織、また帝国美術学校(現[武蔵野美術大学](#))教授に就任。[1931年](#)(昭和6年)、日本画が本来もつ装飾性に眼を向けた「虫魚画卷」を第18回院展で発表。